



Corel® Painter® 20/20

PAINTER 2020 のご紹介

Copyright 2019 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel® Painter® 2020 基本情報ガイド

このユーザー ガイドの内容、および関連する Corel Painter ソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）は、Corel Corporation（以下「Corel」という）および該当するライセンサーに帰属し、著作権で保護されています。Corel Painter の著作権について詳しくは、ソフトウェアの [ヘルプ] - [Corel Painter について] をご覧ください。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報（以下「仕様」）は、販売用英語版のみについてのものです。その他すべてのバージョン（他言語版を含む）の仕様は異なることがあります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件（市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない）を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、Corel 社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または偶発的損害（売上または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない）につき一切責任を負わないものとします。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者によるいかなる請求についても責任を負いません。Corel の責任の合計額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。州または国によって偶発的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがあります、その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

Corel、Corel Balloon のロゴ、Corel のロゴと Balloon のロゴとの組み合わせ、Painter、CorelDRAW、Natural-Media、PaintShop、RealBristle、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、および / またはその他の国における Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。その他の製品、フォント、企業名、ロゴは、それぞれの企業の商標または登録商標です。
特許 : www.corel.com/patent

サンプルのアートワークは、Corel の関連企業ではないサード パーティにより作成されており、許可を得て使用されています。

208068

目次

Corel Painter 2020.....	3
Corel Painter 2020 の新機能.....	4
作業領域の概要.....	8
作業領域レイアウトを選択する.....	10
ブラシを選択/変更する.....	11
ツールボックスについて.....	16
パネルとパレットについて.....	20
ワークフローを選択する.....	25
その他のリソース.....	38



Corel Painter 2020

Corel(R) Painter(R) 2020 は究極のデジタル アート スタジオです。その画期的な描画ツール、リアルなブラシ、クローン作成機能、カスタマイズ可能な機能により、これまでにないエキサイティングな手法で、より創造性の高い表現が可能になります。Corel Painter の感圧ブラシを使用すると、自分の手の延長のようななめらかな動きで、驚くほどの高い質感や正確さを持ったブラシストロークが実現できます。さらに、独自の Natural-Media(R) ブラシを作成し、ブラシとキャンバスとの反応をカスタマイズすれば、多様な方法で芸術的なアイディアを発展させることができます。Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。



Corel Painter で作成したアートワーク。アートワーク作成者 Steven Hanson

Corel Painter 2020 の新機能

新機能! パフォーマンスの自動最適化

最高のデジタルペイント体験を目指して、Painter 2020 から Brush Accelerator が導入されました。この新ユーティリティはシステムの CPU、GPU、メモリを評価したうえで、アプリケーションの設定を最適化することで、最大限のパフォーマンスを引き出します。多くの Painter ブラシが、システムの GPU の処理能力を活かして、ブラシの動作をより速く、ドキュメントのレンダリングや操作をより滑らかにできます。また、システム要素のアップグレードに関する提案や、使用コンピュータと相性のいいブラシ カテゴリの推奨もなされます。



Brush Accelerator がシステムを評価し、生成されるレポートでテスト結果を確認できます。

新しい [パフォーマンス] パネルでは、システムのマルチコア プロセッサ、AVX2、GPU を現在選択されているブラシで活かせるかどうかがすぐにわかります。パフォーマンスを押し上げるこうしたテクノロジーの名称を検索語に用いて、それらを活かせるブラシを検索できます。さらに、Painter 2020 にはパフォーマンスを重視した新しいブラシ カテゴリが 2 つ導入されています。[速くてシンプル] と [速くて装飾的] です。

Brush Accelerator を実行するには

- 1 Welcome 画面で [パフォーマンス] タブをクリックします。
Welcome 画面が開いていない場合は、[ヘルプ] ▶ [Welcome] を選択します。
- 2 [開始] をクリックします。
テストは、Esc キーを押してもキャンセルできます。

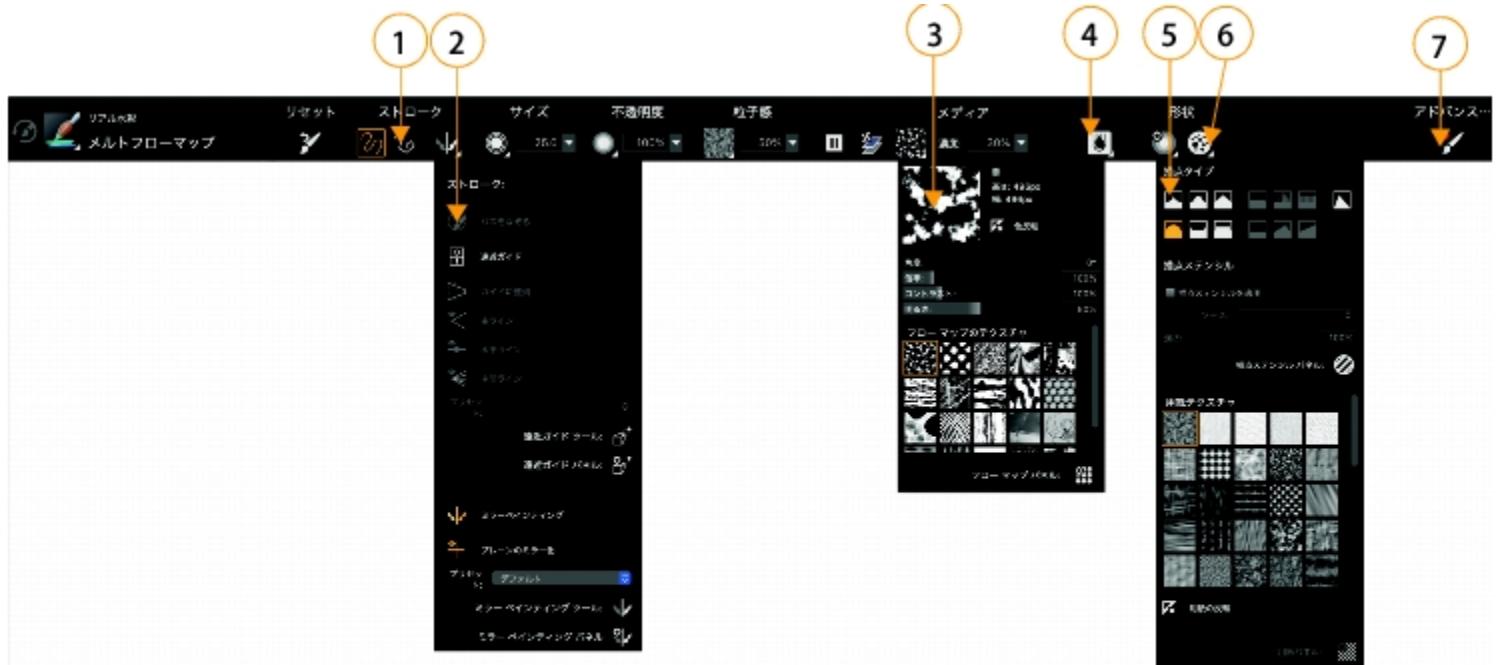


Brush Accelerator # [環境設定] ダイアログ ボックスの [パフォーマンス] ページ (macOS: [Corel Painter 2020] メニューの [環境設定] ▶ [パフォーマンス]、Windows: [編集] ▶ [環境設定] ▶ [パフォーマンス]) と [パフォーマンス] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [パフォーマンス]) からも実行できます。

機能強化! UI 要素

UI が再創造されて、よく使用されるオプションに素早くアクセスできるようになっており、作業のスピードと効率が上がります。ブラシやツールのプロパティバー、フライアウト、パレットが刷新され、とりわけ重要なコントロールにすぐ手が届くようになってい

ます。プロパティバーの設定に直感的なラベリングとグループ化が導入されました。パネルを開いておく必要性がなくなり、描画領域が広がります。各種ライブラリのパネルが整理されて使いやすくなっています。用紙、パターン、テクスチャなどの作業中に画面のスペースを広く使えます。ブラシツールがアクティブの場合は、プロパティバーと詳細ブラシコントロールを見ることで、ブラシの形状や使用しているメディアをより的確に把握できます。また、[詳細ブラシコントロール]ボタンも用意され、[一般]パネルに素早くアクセスできるようになりました。さらに、遠近ガイドやミラーペイントに数クリックでアクセスできます。



ブラシやツールのプロパティバーやフライアウトが刷新され、とりわけ重要なコントロールにすぐ手が届くようになりました。(1) グループラベルで、コマンドを素早く効率的に探し、把握して、使うことができます。リアル水彩ブラシバリエントのプロパティバー: (2) [ストローク] フライアウト、(3) [フロー マップ] フライアウト、(4) [リアル水彩] フライアウトボタン、(5) [描点オプション] フライアウト、(6) [プリスル] フライアウトボタン、(7) [詳細ブラシコントロール] ボタンを使用すると、アクティブなブラシバリエントに関連するパネルにアクセスできます。

機能強化! ブラシの外観

Painter 2020では、描点とストロークのプレビューが機能強化されており、大きな時間の節約が期待できます。外観が向上したことから、どのようなストロークなのかがブラシストロークにマウスを置かなくてもわかり、よく使用的な描点の種類を区別するのがこれまでになくなっています。また、よりスリムでコンパクトなブラシセレクタを表示するオプションが新たに用意され、描画領域が広がります。



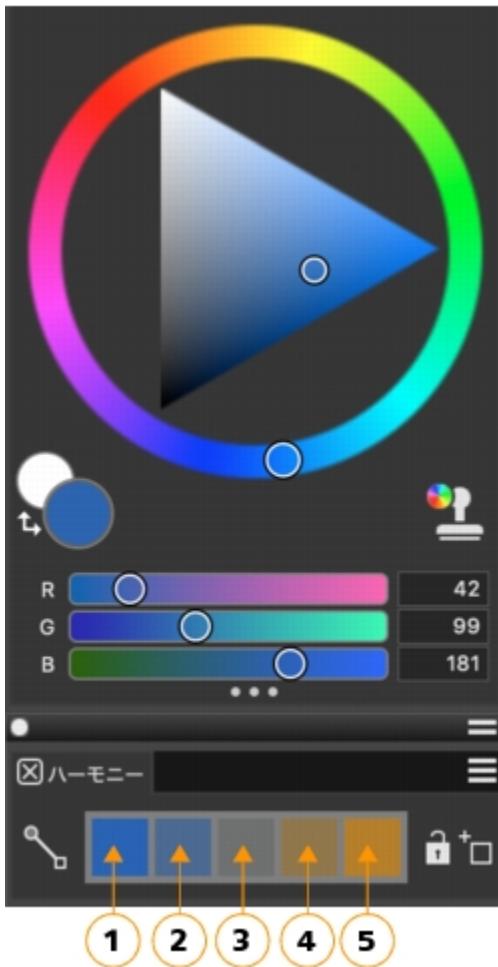
コンパクト ブラシ セレクタ:機能強化された描点 (1) とストローク (2) のプレビュー

コンパクト ブラシ セレクタを表示するには

- ・ [ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (コンパクト)] を選択します。

新機能! 色選択の機能

Painter 2020 では、色を選択するためのコントロールが全体を通じて統一され、アクセスしやすくなっています。スライダのカラー ランプのデザインが一新され、完璧な色を簡単に選択できるようになっているほか、よく使用するダイアログ ボックスにおなじみの直感的なカラー ピッカーが用意されています。新しいプレビューにより、新しい色と現在の色が並べて表示され、色の組み合わせの見栄えを推測する必要がなくなりました。一時的なカラー セレクタには、カラーのクローン機能と、左利きのアーティスト向けにセレクタを構成し直すモードが用意されています。[カラー] パネルをカスタマイズして必要な機能だけが表示されるようにすることで、描画領域を広げられます。また、[カラー] パネルで [メイン カラー] または [サブカラー] カラー タイルをダブルクリックして、一時的なカラー セレクタを開くこともできます。新しいハーモニー オプションを使用すると、基準色を 1 つ選択し、それをもとに美的バランスの取れた色の組み合わせを作成できます。



暖色と寒色が作成されて活力のみなぎるカラー スキームになります。左から右へ、相補ハーモニーの 5 色のカラー ボックスは、メイン カラー (1) とその直接の補色 (5)、そしてこの 2 色の補色のブレンドである (2) と (3) と (4) です。

カラー ハーモニーを作成するには

- [カラー] パネルで色を選択します。

Corel Painter が自動で [相補] カラー ハーモニー モードを適用してカラー パレットを生成し、[カラー] パネルの [ハーモニー] 領域に表示します。相補カラー ハーモニーは [メイン カラー] とカラー ホイール上で対極にあるカラーとのバランスを取ります。暖色と寒色が作成されて活力のみなぎるカラー スキームになります。左から右へ、5 色のカラー ボックスは、メイン カラー (1) とその直接の補色 (5)、そしてこの 2 色の補色のブレンドである (2) と (3) と (4) です。

カラー ハーモニーのカラー タイルの表示/非表示を切り替えるには

- [カラー] パネルでカラー オプションのボタン をクリックし、カラー ハーモニーのオプションを選択します。
 - **類似ハーモニー** – カラー ホイール上で互いに隣り合うカラーを含めることで、クリアでスムーズなカラー スキームを作成します。[メイン カラー] は 5 色のカラー タイルの中央になります。
 - **分割相補ハーモニー** – [メイン カラー] と、カラー ホイールの対極に近い位置のカラーとのバランスを取り、三角形を形作ります。このハーモニー ルールからは通常、ソフトなコントラストのカラー スキームが作成されます。[メイン カラー] は 3 色のカラー タイルの左端になります。
 - **4 つ組ハーモニー** – カラー ホイール上の 2 色とそれぞれの補色をベースにします。このルールでは通常、大胆なカラー ハーモニーが作成され、使う際には慎重な計画が必要です。[メイン カラー] は 4 色のカラー タイルの左端になります。

- 明るいモノクロ ハーモニー — 5 色を含むなめらかなカラー スキームが作成されます。左端が [メイン カラー] で、4 色のバリエーションは明るさが 10% ずつ強まっています。
- 暗いモノクロ ハーモニー — 5 色を含むなめらかなカラー スキームが作成されます。左端が [メイン カラー] で、4 色のバリエーションは明るさが 10% ずつ弱まっています。

機能強化! ブラシの切り替えと消しゴム ツールのパフォーマンス

[ブラシ セレクタ] バーのデザインが見直され、前回使用したブラシを再びアクティブにするためのボタンが用意されました。これにより、バリエントどうしを素早く切り替えられます。この新機能は、カスタム パレットへの追加やショートカット キーへの割り当てもできます。さらに、消しゴム ツールの機能が強化され、より滑らかで遅れのないペイントイング体験がもたらされているほか、カスタマイズのオプションが増えています。

以前に使用したブラシ バリアントを選択するには

- ツールボックスで ブラシ ツール  をクリックします。
- ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- [ブラシ ライブラリ] パネルで、はブラシ カテゴリをクリックし、ブラシ バリアントをクリックします。
- キャンバス上にペイントします。
- 新しいブラシ バリアントを選択し、キャンバスでペイントします。
- ブラシ セレクタ バーで、[前回使用したブラシ] ボタン  をクリックします。

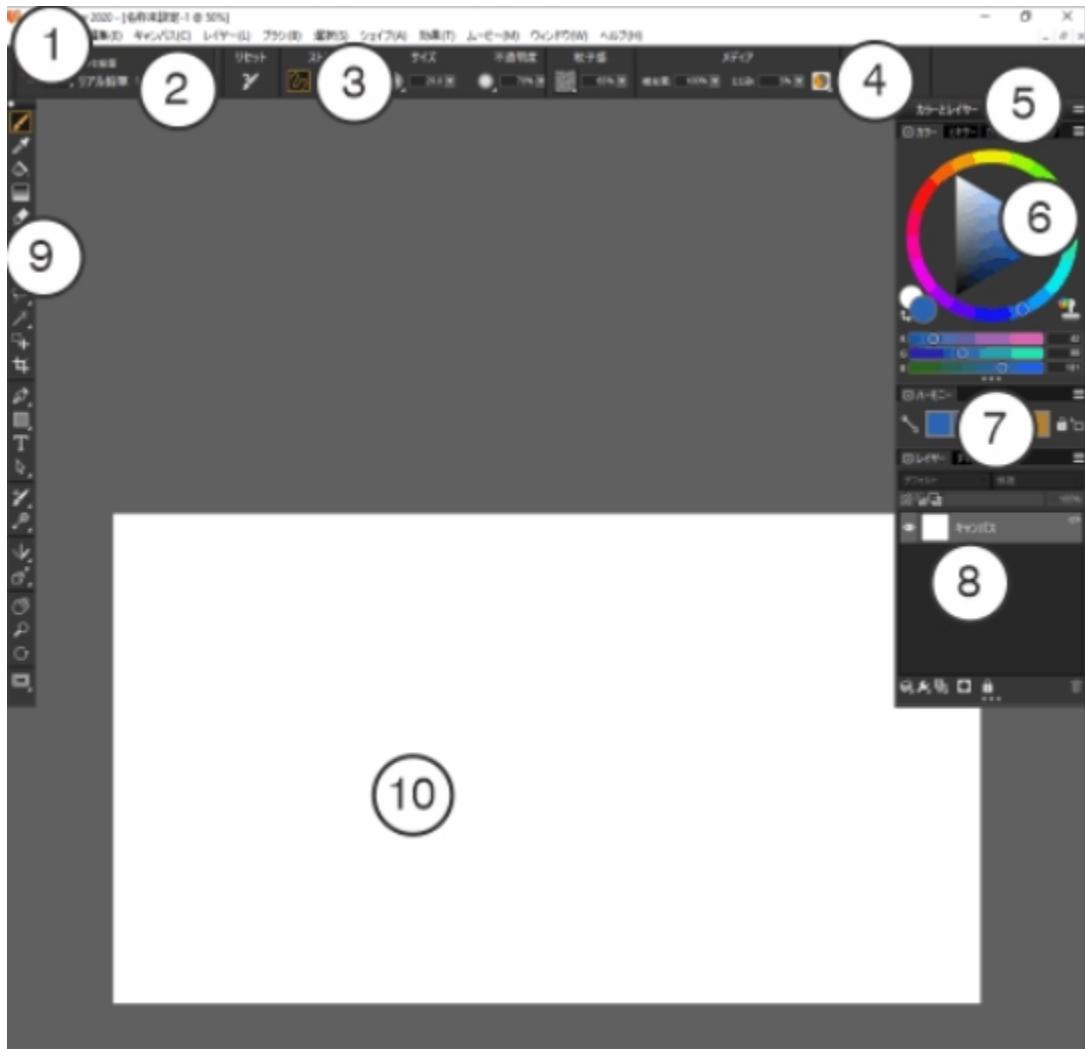
選択した最初のブラシが再びアクティブになります。

機能強化! レイヤーのワークフロー

Painter 2020 では、レイヤーのワークフローに数々の新機能が用意されています。頻繁に使用されるコマンドが [レイヤー] パネルの [オプション] メニューに追加されるので、時間を節約できます。また、キャンバスをロックできるようになったほか、レイヤーの貼り付け方法の選択肢や、レイヤーの結合および選択範囲などに関連して、機能が強化されています。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクタ、パネル、およびインタラクティブ パレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、アプリケーションのウィンドウのメインコンポーネントについて説明します。

コンポーネント

説明

1. メニュー バー

プルダウンメニュー オプションを使用して、ツールと機能にアクセスできます。

2. ブラシ セレクタ バー

[ブラシライブラリ] パネルを開き、ブラシ カテゴリとバリアントを選択できます。ブラシ ライブラリを開いて管理することもできます。

3. プロパティ バー

アクティブなツールやオブジェクトに関連するコマンドが表示されます。たとえば、塗潰しツールがアクティブであれば、選択した領域を塗り潰すための各種コマンドがプロパティ バー上に示されます。プロパティ バーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループ ラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。

コンポーネント

4. 詳細ブラシコントロール

説明

現在選択されているブラシに関連するブラシ コントロール パネルのグループを生成する [詳細ブラシ コントロール] パネルと、使用システムでの Painter のパフォーマンスがわかる Brush Accelerator ユーティリティが用意されています。

5. パレット引き出し

パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。

6. [カラー] パネル

カラーの選択と、選択したカラーに関する情報の表示ができます。

7. カラー ハーモニー

ハーモニー ルールを使用してカラー ハーモニーを作成できます。

8. [レイヤー] パネル

レイヤーの階層を管理し、レイヤーの作成、選択、表示、固定、削除、名前の指定、グループ化を行うためのコントロールがあります。

9. ツールボックス

イメージを作成、塗潰し、および変更するツールにアクセスできます。

10. キャンバス

キャンバスとは、書類ウィンドウ内にある長方形の作業領域です。このサイズにより、作成されるイメージのサイズが決定します。キャンバスはイメージ背景としても機能し、レイヤーとは違って、常にロックされています。

作業領域レイアウトを選択する

作業領域レイアウト（「パレット配置」とも呼ばれます）は、パレットやパネルなどの作業領域の要素を特定のワークフローに応じて表示、非表示、および位置付けするものです。Corel Painter 2020 では、以下の作業領域レイアウトが提供されます。

作業領域レイアウト

Painter の新規ユーザー向け

説明

最も基本的なコントロールが [ヒント] パネルとともに表示され、Corel Painter をすぐに使い始めることができるようになります。

Classic

使い慣れた環境のままシームレスに移行したいと考える、以前のバージョンの Corel Painter のユーザーに最適です

デフォルト

ほとんどのコンピュータで最適に動作するデフォルトの作業領域レイアウトです。詳細は、8 ページの「[作業領域の概要](#)」を参照してください。

シンプル

ツールボックス、メニュー バー、拡張プロパティ バーを含む最小限のユーザー インターフェースを表示します

コンセプト アート

グラデーション、テクスチャ ペインティング コントロール、グレーズ ブラシに素早くアクセスできます。画面スペースを節約するために、ブラシとメディア パレットはパレット引き出しにわかりやすく分類されています。

作業領域レイアウト

イラスト

説明

[参照イメージ] パネル、テクスチャ、グラデーション、グレーズ ブラシを表示します

ファイン アート

従来のメディア ブラシと合成ツールに素早くアクセスできます

フォト アート

写真アーティストにより一般的に使用されるパレットが表示され、フォト、テクスチャ、ペイントのクローンを作成するためには最適な設定が提供されます。

マンガアート

ブラシ、用紙、グラデーション、ブラシの不透明度、グレーズ コントロールに素早くアクセスできます

クリック切り替え機能を使用すると、2つの作業領域レイアウトを選択し、現在のタスクまたはデバイスの表示モードに応じて、それらを素早く切り替えることができます。この機能は、特にマルチモードまたはデュアルモードのデバイスを使用する場合に役立ちます。たとえば、デフォルトをレイアウト 1 として、シンプルをレイアウト 2 として選択すると、表示パネルをノートブック モードからタブレット モードに切り替えたときに、シンプル作業領域レイアウトが自動的に表示され、すっきりとした最小限のユーザー インターフェースを使用して作業できます。

作業領域レイアウトを選択するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] を選択し、レイアウトを選択します。



Welcome スクリーンからレイアウトを選択することもできます。この場合は、[設定] をクリックしてレイアウトを選択します。

作業領域レイアウトを切り替えるには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 1] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 2 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 2] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 3 レイアウト 1 とレイアウト 2 を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - デュアルモードまたはマルチモードのデバイスの表示パネルの位置を変更します (たとえば、ノートブック モードからタブレット モードに変更するなど)。
 - [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウトの切り替え] をクリックします。



デフォルトの作業領域レイアウトやユーザーが作成したカスタム作業領域レイアウト間での切り替えも可能です。カスタム作業領域レイアウトを作成および保存する方法について詳しくは、「パネルとパレットを再配置する#を参照してください。

ブラシを選択/変更する

Corel Painter 2020 にはブラシ バリアントと呼ばれる、絵筆や筆記具のプリセットが多数用意されています。ブラシ バリアントは、「エアブラシ」、「アーティスト オイル」、「カリグラフィ」、「ペンと鉛筆」、「水彩」といった多数のカテゴリに分類して登録されています。一部のブラシ カテゴリは現実の画材に近くなるよう設定してありますので、名前から大体どのような描き味のブラシか予想がつけられます。ただしカテゴリによっては対応する現実の画材が存在せず、これまでにない斬新な表現力をデジタルアーティストに提供するブラシも存在しています (画期的な粒子ブラシなど)。

ブラシ セレクタでは、ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、最近使用したブラシを表示し、さまざまな方法でブラシを整

理して表示することもできます。たとえば、最近使用したブラシを非表示にして画面スペースを節約したり、ブラシ カテゴリとバリエントを非表示にしてよく使用的なブラシを見つけやすくすることができます。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、
ブラシ セレクタのメイン コンポーネントについて説明します。

コンポーネント

- 1.前回使用したブラシ
- 2.ブラシセレクタ
- 3.ブラシ ライブラリ セレクタ
- 4.最近使ったブラシ

説明

- | | |
|------------------------|---|
| 1.前回使用したブラシ | 前回使用したブラシ バリエントにアクセスできます。 |
| 2.ブラシセレクタ | [ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。 |
| 3.ブラシ ライブラリ セレクタ | ブラシ ライブラリを選択できます。 |
| 4.最近使ったブラシ | 最近使用したブラシが表示されます。リストに表示されるのは、現在選択しているブラシ ライブラリのブラシだけです。別のブラシ ライブラリに切り替えると、最近使ったブラシのリストがクリアされます。 |
| 5.[ブラシパック プロモーション] バー | ブラシ パック セレクタにアクセスしてブラシ パックを購入できます。 |
| 6.[ブラシパック プロモーション] リスト | 利用可能なブラシ パックを参照できます。 |

コンポーネント

7.[ブラシ ライブラリ] オプション ボタン

説明

8.ブラシ カテゴリ{¥cs6¥f1¥cf6¥lang1024 <:so>}ブラシカ

さまざまな方法でブラシを整理して表示するのに役立つコマンドにアクセスできます。

9.ブラシ ライブラリ] パネル

ブラシ ライブラリ内のすべてのカテゴリを参照できます。ブラシ カテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したもので

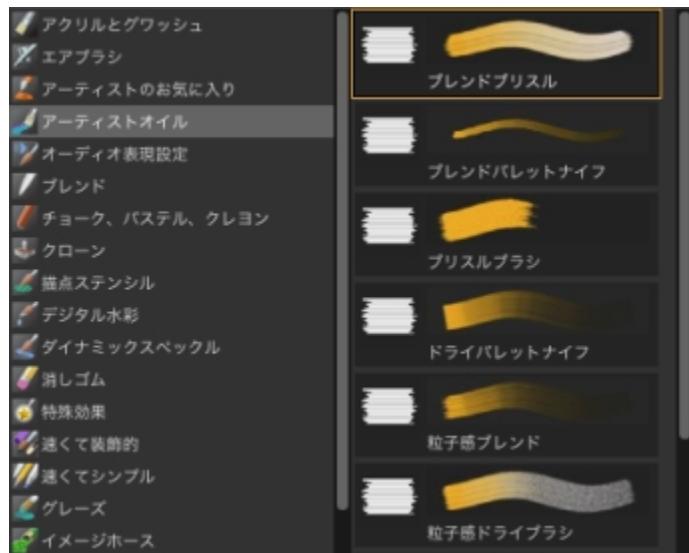
10.ブラシ バリアント

現在選択しているライブラリのブラシ カテゴリとバリアントを参照できます。

11.ブラシ バリアント

カテゴリ内のブラシ バリアントを参照できます。ブラシ バリアントとは、1 つのブラシ カテゴリに含まれている特定のブラシとブラシ 設定のことを指します。

[ブラシ ライブラリ] パネルで、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリとは、類似するブラシやメディアのグループです。ブラシ バリアントとは、ブラシ カテゴリに含まれている特定のブラシのことです。ブラシ セレクタは、フローティング パネルとして開いたままにしておくこともできます。こうすると、ペイント中にブラシに素早く簡単にアクセスできます。[ブラシ セレクタ] パネルにはコンパクト ビューとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、ブラシのカテゴリとバリアントがどちらも表示されます。コンパクト ビューでは、ブラシ バリアントだけが表示され、スクロールしなくてもより多くのブラシを一覧できます。



フル ビューでは、[ブラシ ライブラリ] パネルから、ブラシ カテゴリ (左) とブラシ バリアント (右) を選択できます。

ブラシ セレクタの表示/非表示を切り替えるには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

表示/非表示を切り替えるには

ブラシセレクタ

[ブラシ セレクタ] パネルがフル ビューで表示されます。

操作内容

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [バー] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (フル ビュー)] を選択します。

表示/非表示を切り替えるには

[ブラシ セレクタ] パネルがコンパクト ビューで表示されます。

操作内容

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (コンパクト)] を選択します。

ブラシのカテゴリやバリエントを選択する

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシセレクタバーの [ブラシセレクタ] をクリックします。
- 3 [ブラシライブラリ] パネルで、はブラシカテゴリをクリックし、ブラシバリエントをクリックします。

ブラシを検索する

現在選択しているブラシライブラリのコンテンツを素早く検索して、具体的な指定に一致するブラシを見つけられます。検索を実行するには、1つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。たとえば、「鉛筆リアル」という検索語句を入力すると、「リアル鉛筆」ブラシバリエントのすべてのリストが生成されます。

ブラシバリエントを検索するには

- 1 検索バーの [検索] テキストボックスに、ブラシ属性1つ、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。
- 2 リスト内のブラシバリエントの上にマウスを置くと、フライアウトの下部にブラシストロークのプレビューが表示されます。
- 3 リストからブラシバリエントを選択します。



検索バーは、デフォルトではクラシックレイアウトにおいてのみ、プロパティバーの右側、書類ウィンドウの右上隅に表示されます。検索バーをその他すべてのレイアウトで表示するには、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックします。



検索ボックスに「**2020**」と入力すると、Corel Painter 2020 の新規のブラシまたは更新されたブラシを検索できます。検索語として「**GPU**」、「**AVX2**」、「**マルチコア**」などと入力すると、これらのテクノロジーを活かすブラシを検索できます。

以前検索バーを非表示にした場合は、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックして表示できます。

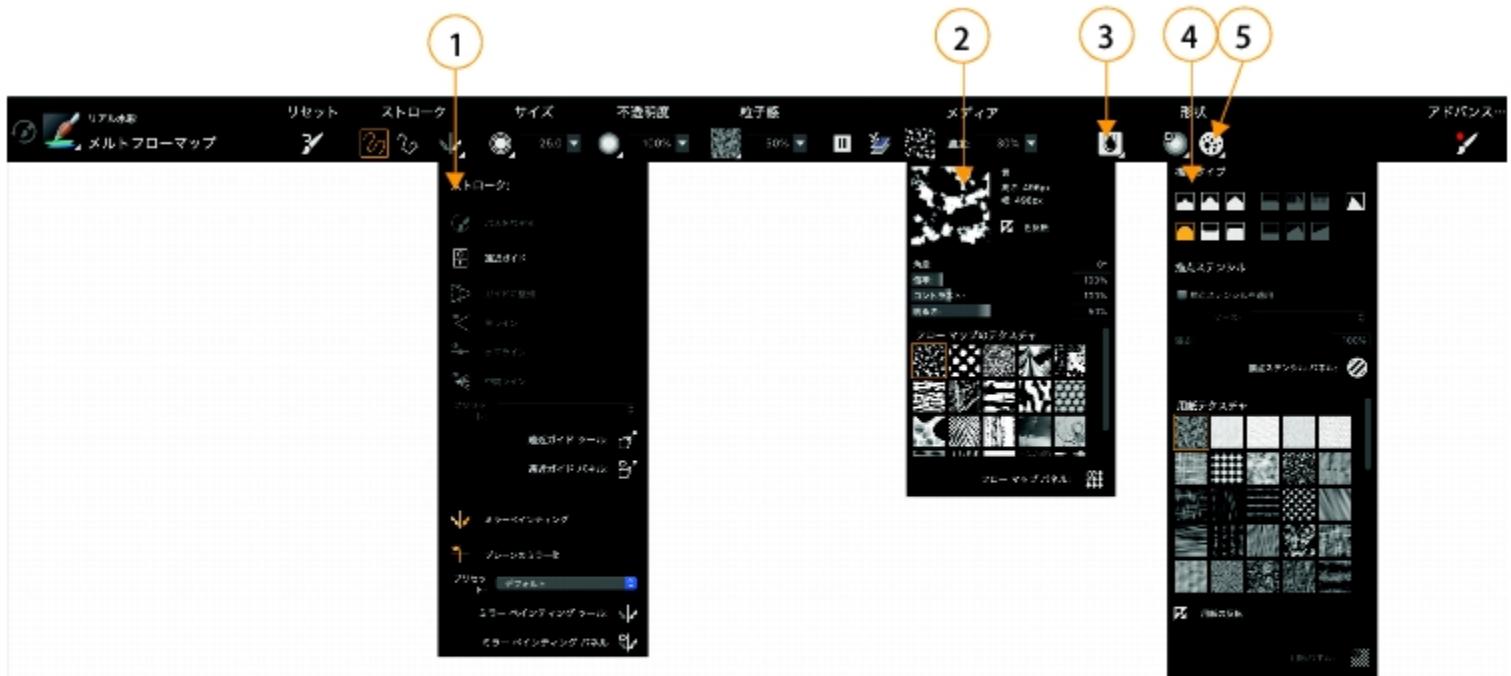
ブラシを変更する

ブラシツールを選択している場合、プロパティバー上でブラシバリエントを素早く変更できます。一部の基本的な属性(サイズや不透明度など)はすべてのブラシに共通していますが、その他の属性は選択したブラシカテゴリに固有です。



プロパティバーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。(1) [リセット] ボタンを使用すると、選択したブラシのデフォルト設定を復元できます。(2, 3, 4) すべてのブラシに共通のコントロール、(5, 6, 7) ブラシ固有のコントロール、(8) [詳細ブラシコントロール] ボタンを使用すると、アクティブなブラシバリエントに関連するパネルにアクセスできます。

プロパティバーには、選択したブラシカテゴリやブラシバリエントに応じたフライアウトが用意され、アクティブなブラシやツールに関連してよく用いられる機能にアクセスできます。



リアル水彩ブラシ バリアントのプロパティバー: (1) [ストローク] フライアウト、(2) [フロー マップ] フライアウト、(3) [リアル水彩] フライアウト ボタン、(4) [描点オプション] フライアウト、(5) [プリスル] フライアウト ボタン、アイコンの背景の形は用途を示しています。正方形の背景 (4) は、ブラシのメディアのプロパティを変更する設定にアクセスできることを示します。丸い背景 (4, 5) のアイコンでは、ブラシの形状を制御する設定にアクセスします。

基本的なブラシ属性を設定するには

- ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- ブラシ セレクタバーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- [ブラシ ライブラリ] パネルで、はブラシ カテゴリをクリックし、ブラシ バリアントをクリックします。
- プロパティバーで以下のいずれかの操作を行います。
 - ブラシ サイズを設定するには、[サイズ] スライダ  を動かすか、[サイズ] ボックスに値を入力します。
 - ブラシストロークの不透明度を設定するには、[不透明度] スライダ  を動かすか、[不透明度] ボックスにパーセント値を入力します。



右の角カッコ (]) キーを押してブラシのサイズを大きくしたり、左の角カッコ ([]) キーを押してブラシのサイズを小さくしたりすることもできます。

ブラシ ツールがアクティブになっている場合は、数字キーで不透明度を設定できます。各数字キーはそれぞれ、固定のパーセンテージに対応しています。たとえば、1 キーは 10%、5 キーは 50%、0 キーは 100% の不透明度を指定できます。

ブラシ カテゴリについて

Corel Painter 2020 には多数のブラシ カテゴリが用意されており、各カテゴリ内には多数のプリセット ブラシ バリアントが存在しています。ブラシ カテゴリの一覧については、製品ヘルプの「[ブラシ カテゴリについて](#)」を参照してください。

カスタム ブラシを作成する

Corel Painter の充実したブラシ ライブラリに用意されているブラシ バリアントをそのまま選択する以外に、[一般] ブラシ コントロール パネル内でブラシ バリアントを変更することも可能です。コントロール パネルでは以下の項目を設定できます。

- ・ [描点の種類] - メディアをキャンバスにどのように適用するかを設定します。
- ・ [ストロークの種類] - ブラシストロークをメディアにどのように適用するかを設定します。
- ・ [手法] および [サブカテゴリ] - 手法は、あらゆるブラシ バリアントの動作を最も基本的なレベルで決定付ける設定です。手法とそのサブカテゴリは、ストロークの外観の属性を表します。
- ・ [ソース] - ブラシ バリアントが使用するペイント材料の種類を指定します。

[一般] ブラシ コントロール パネルの使用方法について詳しくは、製品ヘルプの「[一般コントロール](#)」を参照してください。

[一般] ブラシ コントロールパネルを表示するには

- ・ [ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [一般] を選択します。

ツールボックスについて

ツールボックス内のツールは、ペイント、線やシェイプの作成、シェイプの塗潰し、書類の表示と操作、選択範囲の指定などに使用できます。ツールボックスの下には、カラー セレクタがあり、さらにその下には、テクスチャ、グラデーション、パターン、複合ブラシ、ノズルを選択できる 6 つのコンテンツ セレクタがあります。

以下の表で、Corel Painter ツールボックスのツールを説明します。

ツール	説明
カラー ツール	
	ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。ブラシのカテゴリには、鉛筆、ペン、チョーク、エアブラシ、油彩、水彩などがあります。ブラシ ツールを選択すると、[ブラシ ライブラリ] パネルが表示され、そこから特定のブラシを選択できます。詳しくは、「 ブラシを選択、管理、および作成する 」を参照してください。
	スポット ツール使用すると、既存のイメージから色をサンプリングできます。プロパティバーで色の値を確認できます。スポット ツールで色を選択すると、[カラー] パネルにもその色が示されます。詳しくは、「 イメージから色を採取する 」を参照してください。
	塗潰しツールを使用すると、色、グラデーション、パターン、テキスタイル、クローンなどのメディアで領域を塗り潰せます。プロパティバーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。詳しくは、「 塗潰しを使用する 」を参照してください。
	インタラクティブ グラデーション ツールでは、キャンバス、選択範囲、レイヤー、チャンネルなどの領域を塗り潰し、グラ

ツール



説明

デーションをイメージに適用することができます。詳しくは、「[グラデーションを適用する](#)」を参照してください。

消しゴム ツールを使用すると、不要な領域をイメージから消去することができます。詳しくは、「[イメージ領域を消去する](#)」を参照してください。

選択範囲ツール



レイヤー調整ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。詳しくは、「[\[レイヤー\] パネルを表示する](#)」を参照してください。



変形ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



長方形選択ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



楕円形選択ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



なげなわツールを使用すると、フリーハンドで選択範囲を指定できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



多角形選択ツールを使用すると、イメージ上のさまざまなポイントをクリックして直線セグメントで囲むことにより、領域を選択できます。詳しくは、「[パスベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



自由選択ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。詳しくは、「[ピクセルベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



[選択ブラシ] ツールを使うと、ペイントでフリーハンド選択を作成できます。



選択範囲調整ツールを使用すると、**長方形選択**、**楕円形選択**、および**なげなわ**ツールで作成した選択範囲やシェイプから変換した選択範囲を選択、移動、調節できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



クロップ ツールを使用すると、不要なエッジをイメージから削除できます。詳しくは、「[イメージをクロップする](#)」を参照してください。

整形ツール

ツール



説明

ペン ツールを使用すると、直線と曲線のシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[直線および曲線の描画](#)」を参照してください。



フリーハンド ツールを使用すると、フリーハンド曲線を描くことでシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。



長方形シェイプ ツールを使用すると、長方形と正方形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



楕円形シェイプ ツールを使用すると、円形と楕円形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



テキスト ツールを使用すると、文字の形をしたイメージを作成できます。[テキスト] パネルを使って、フォント、文字のサイズ、およびトラッキングを設定します。詳しくは、「[テキストを追加する](#)」を参照してください。



シェイプ選択ツールを使用すると、ベジェ 曲線を編集できます。このツールを使用して、アンカー ポイントの選択や移動、コントロール ハンドルの調節を行うことができます。詳しくは、「[シェイプを選択する](#)」を参照してください。



開いているセグメントまたは閉じているセグメントを切断できます。セグメントが閉じている場合は、線またはポイントをクリックすると、シェイプ パスが開いた状態になります。詳しくは、「[シェイプ セグメントを切断/連結する](#)」を参照してください。



ポイント追加ツールを使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント削除ツールを使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント変換ツールを使用すると、スムーズ アンカー ポイントからコーナー アンカー ポイントへの変換、またはその逆の変換を実行できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。

フォト ツール



前回使用した [クローン] ブラシ バリエントに素早くアクセスできます。詳しくは、「[クローンでペイントする](#)」を参照してください。

ツール



説明

スタンプ ツールを使用すると、[ストレートクローン] ブラシ バリエントに素早くアクセスし、1 つのイメージ内または複数のイメージにわたって領域をサンプリングできます。詳しくは、「[オフセットのサンプリングを実行する](#)」を参照してください。



覆い焼き ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。



焼き込み ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。詳しくは、「[ミラー ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。



万華鏡 ツールを使用すると、基本的なストロークを、カラフルで対称的な、万華鏡のようなイメージに変換できます。詳しくは、「[万華鏡ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。

合成ツール



黄金分割 ツールを使用すると、伝統的な構図技法に基づくガイドを使用して構図を決定できます。詳しくは、「[黄金分割ツールを使用する](#)」を参照してください。



レイアウト グリッド ツールを使用すると、キャンバスを分割して、構図の決定に役立てることができます。たとえばキャンバスを縦横それぞれに 3 等分して、構図の 3 分割法を適用することができます。詳しくは、「[レイアウト グリッドを使用する](#)」を参照してください。



遠近ガイド ツールを使用すると、1 点透視、2 点透視、または 3 点透視のガイドを表示できます。詳しくは、「[遠近ガイドを使用する](#)」を参照してください。

ナビゲーション ツール



手のひら ツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。詳しくは、「[イメージを移動する](#)」を参照してください。



拡大 ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。詳しくは、「[イメージを拡大する](#)」を参照してください。

ツール



説明

用紙回転ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。詳しくは、「[イメージとキャンバスを回転する](#)」を参照してください。

セレクタ



表示セレクタを使用すると、書類ビューと表示モードを切り替えられます。詳しくは、「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



ツールボックスはデフォルトで開いていますが、ツールボックスのヘッダー バーの [閉じる] ボタンをクリックして閉じることも可能です。ツールボックスを再び開くには、[ウインドウ] ▶ [ツールボックス] を選択します。

パネルとパレットについて

Corel Painter のインターフェイス パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。



このパレット引き出しには、関連する 2 つのパネル [グラデーション] と [グラデーション ノード] があります。パネルの内容にアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter のほとんどのパレットにはオプション メニューがあり、関連するコマンドを実行できるようになっています。たとえば、[レイヤー コントロール] パネルのオプション メニューを使用すると、レイヤーのロック、複製、およびグループ化を実行できます。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1)、パレットをパレット引き出しに変換できる [パレット引き出し] ボタン (2)、パネルタブ (3)、関連する一連のコマンドにアクセスできるパネル オプション (4) があります。

次の表に、一般的に使用されるパネルの説明を示します。その他のパネルについて詳しくは、製品ヘルプの「パネルについて」を参照してください。

パネル	説明
[ブラシコントロール] パネル	【ブラシコントロール】パネルは、【ブラシコントロール】パレットに含まれています。【ブラシコントロール】は複数の【ブラシコントロール】パネルに分かれているため、作業しながらブラシバリエントを調節することも、既存のバリエントを変更して新しいバリエントを作成することも可能です。
[詳細ブラシコントロール] パネル	現在選択されているブラシに関する【ブラシコントロール】パネルのグループを生成します。ブラシの形状やメディアに関するパネルには、【編集】パネルで【形状】および【メディア】ショートカットを使用すると素早くアクセスできます。
カラー パネル	
色	メイン カラーとサブカラーを選択し、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[カラー] パネルから色を選択する」を参照してください。
ミキサー	【ミキサー】パレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜ合わせることができます。詳しくは、「[ミキサー] パネルと混合コントロールについて」を参照してください。
カラー セット ライブラリ	現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。詳しくは、「カラー セットを使用する」を参照してください。
[レイヤー] パネルおよび [チャンネル] パネル	
レイヤー	すべてのレイヤーのプレビューと操作が可能で、ダイナミック プラグインの適用、新しいレイヤー（水彩レイヤーやリキッド インク レイヤーなど）の追加、レイヤー マスクの作成、レイヤーの削除を実行できます。また、合成方法や奥行き、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。詳細は、「レイヤー#」を参照してください。

パネル

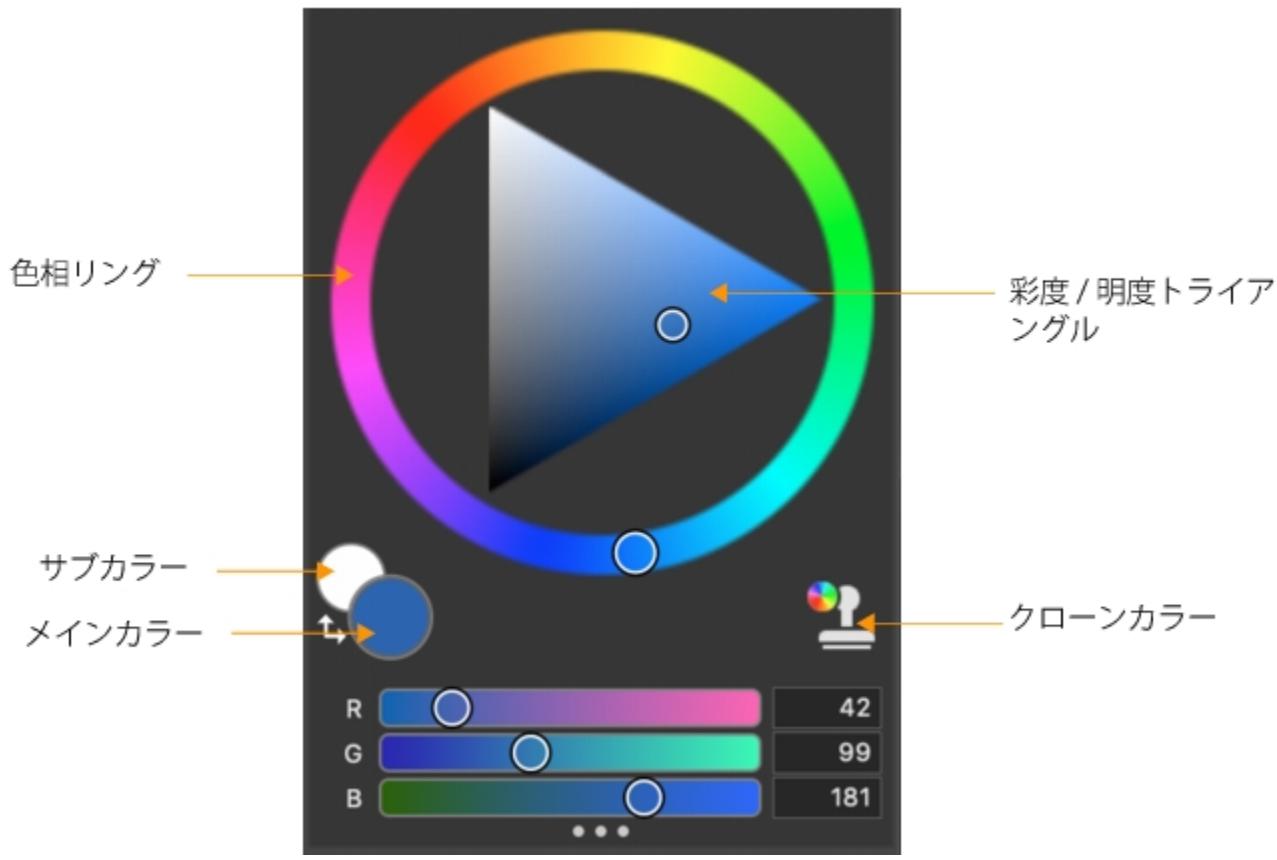
チャンネル

説明

RGB 合成チャンネル、レイヤーマスク、アルファ チャンネルなど、Corel Painter の書類内のすべてのチャンネルがサムネイル形式で表示されます。パネルからは、既存のチャンネルを読み込み、保存、反転することも、新しいチャンネルを作成することができます。詳しくは、「[アルファ チャンネル](#)」を参照してください。

パネルとパレットを使用する

Corel Painter 2020 を起動すると、[カラー] パネルが自動的に開きます。このパネルは、[ミキサー]、[カラー セット ライブ]、[カラー範囲]、[カラー表現]、[レイヤー]、[チャンネル] の各パネルとともに 1 つのパレット引き出しにグループ化されています。デフォルトでは、[カラー] パネルにはカラー ホイール、カラー ハーモニー、選択している色の情報が表示されますが、これらの要素を隠すことも可能です。



[カラー] パネル上の情報を隠すには

目的

カラー ホイールを隠す

操作内容

[カラー オプション] ボタン  をクリックし、[カラー ホイール] を選択します。

目的

カラー情報を隠す

操作内容

[カラー オプション] ボタン  をクリックし、[カラー情報] を選択します。

カラー ハーモニーを隠す

カラー オプションのボタン  をクリックし、カラー ハーモニーを選択します。

パネルは必要に応じて簡単に表示でき、作業が終了したら素早く閉じることができます。

パネルまたはパレットを表示する/隠すには

- ・ [ウィンドウ] ▶ をクリックし、目的のパネル名を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

パレットの配置は、カスタム作業領域レイアウトとして保存することにより、後で再利用できます。また、不要になった時点で、そのカスタム作業領域レイアウトを削除できます。

作業に合わせて、パネルの表示を並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。またパレットは隨時カスタマイズでき、パネルを追加または削除する、パネルの位置を変更する、パネルを別のパレットに移動するなどの操作が可能です。

パネルをパレットにグループ化するには

- ・ 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

パネルをパレットにグループ化する

操作内容

パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。

パネルをパレットに追加する

パネルをパレットにドラッグします。

パレットからパネルを削除する

パネルをパレットの外にドラッグします。

パレット内のパネルの位置を変える

パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除すると作業領域から切り離されて移動できるようになります。

パレットやパネルをドッキング/ドッキング解除するには

- ・ 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

パレットをドッキングする

操作内容

パレットのヘッダー バー (またはタブの右側の空き領域) を Corel Painter ウィンドウの縦の端にドラッグします。パレットとウィンドウの端と端が並ぶと吸着されます。

目的

パレットのドッキングを解除する

操作内容

パネルのタブの右側の空き領域を Corel Painter ウィンドウの端から離すようにドラッグします。

パネルをドッキングする

パネルのタブを Corel Painter ウィンドウの垂直の端にドラッグします。パネルの端とウィンドウの端が並ぶと吸着されます。

パネルのドッキングを解除する

パネルのタブを Corel Painter ウィンドウから離すようドラッグします。

パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。同時に、パレット引き出しを通常のパレットに戻すこともできます。パレット引き出しは、他のパレット グループと同様にサイズ変更や位置変更が可能です。

パレット引き出しを使用するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

パレット引き出しを作成するには

操作内容

パレットヘッダー バーの **[パレット引き出し]** 切り替えボタン  をクリックし、**[パレット引き出し]** をクリックします。

パレット引き出しを広げる/たたむには

パレット引き出しを通常のパレットに戻すには、直前の手順を繰り返します。

パレット引き出しを隠すには

パレット引き出しのヘッダー バーをダブルクリックします。

パレット引き出しを表示する

ヘッダー バーの **[閉じる]** ボタン  をクリックします。

[ウィンドウ] ▶ [パレット引き出し] ▶ をクリックし、目的のパレット引き出し名を選択します。

カスタム パレットを作成する

Corel Painter では、必要な機能だけを含むカスタム パレットを作成できます。カスタム パレットを使用すると、目的の機能に素早くアクセスできます。たとえば、[ブラシライブラリ] パネルや [メディアライブラリ] パネル内のアイテムを、カスタム パレットに入れることができます。また、メイン メニューやパネル オプションのコマンドもカスタム パレットに追加できます。詳しくは、製品ヘルプの「カスタム パレットを作成/変更する」を参照してください。

カスタム パレット上のアイテムの表示方法を変更することも可能です。たとえば、テキスト、アイコン、または大きなアイコンとしてアイテムを表示できます。

カスタム パレットを素早く作成するには

- Shift** キーを押し、次のいずれかの操作を行います。

- **[ブラシ セレクタ]** パネルから書類ウィンドウにブラシ バリアントをドラッグします。
- **[用紙]** ライブラリ (**[ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [用紙]**)、**[フロー マップ]** ライブラリ (**[ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [フロー マップ]**)、またはその他の **[メディア]** パネル (**[ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [テクスチャ]、[パターク]、[グラデーション]、[ノズル]、[模倣]、**[テキスタイル ライブラリ パネル]**) のいずれかから書類ウィンドウに、用紙、フロー マップ、メディア ライブラリのサムネイルをドラッグします。**

メニュー コマンド、コントロール、またはツールをカスタム パレットに追加するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [カスタムパレット] ▶ [メニュー コマンドの追加] を選択します。
- 2 [カスタム パレットの選択] リスト ボックスから [新規] を選択し、新しいパレットを作成するか、既存のカスタム パレットを選択します。
- 3 表示される [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、次の表のタスクを実行します。

追加するもの

メニュー アイテム

その他のコントロール

パネル、またはパネルのオプション フライアウト メニューに含まれているアイテム

ツールボックス ツール

開いたパレットからのアイテム

操作内容

メニュー アイテムをデフォルトの Corel Painter メニューから選択します。

メニュー アイテムを [その他] メニューから選択します。

メニュー アイテムを [パネル メニュー] メニューから選択します。

メニュー アイテムを [ツール] メニューから選択します。

アイテムをクリックします。

- 4 [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、[追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

ワークフローを選択する

Corel Painter にはオリジナル アートワークを作成したり、制作スタイルに適したワークフローを使用したりする上で役立つ、さまざまなツールと機能が用意されています。

たとえば、Corel Painter のパワフルなクローン作成ツールを使用すると、デジタル フォトを素早くペイントに変換できます。またトレーシング ペーパー機能を使用して、フォト ベースのペインティングを開始することも可能です。トレーシング ペーパーを使用すると、クローン書類の下に半透明のソース イメージが表示され、キャンバスにクローン カラーを正確に適用できます。

実際の画材で描いたスケッチを出発点としたい場合は、スケッチをスキャンして、Corel Painter 上でデジタルに仕上げられます。また、用紙テクスチャとブラシを選択してキャンバスに色を適用することで、Corel Painter 上でプロジェクトを一から開始することも可能です。

フォト アート: フォトペインティング

Corel Painter を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。ソース イメージとして使用するフォトを用意するだけで、簡単に作業を開始できます。フォト アート作業領域レイアウトには、フォト ペインティングに関連するパレットとツールだけが表示されます。



さまざまなプリセットスタイルを使用して、写真をペイントに変換することができます。

Corel Painter には、写真などの既存のイメージをアート作品に変身させることができる、パワフルなイメージ クローン作成ツールがあります。クイック クローン機能を使うと、画像のクローンを作成するために必要なすべてを自動的に設定することや、空の書類から始めて 1 つまたは複数のクローン ソースを追加することができます。クローン ソースは、ブラシの色の参考に使われるものです。クローン ソースの色のクローンを作成し（色のコピー）、これを目的のキャンバスに適用します（書類のクローンを作成）。クローン ソースは埋め込むことも埋め込まないこともできます。クローン ソースを埋め込むと、そのクローン ソースは書類とともに保持され、ペイント中にクローン ソース間を素早く切り替えることができます。画像、テクスチャ、パターンをクローン ソースとして使うことができます。写真をペイントに変換したい場合など、クローン ソースを 1 度しか使わない場合は、画像として埋め込むことができます。クローン アセットをクローン ソースとして複数のプロジェクトで再利用する場合は、テクスチャまたはパターンとしてそれぞれ [テクスチャ] または [パターン] ライブラリに保存することができます。Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。目的に合うように構図のコンテキストでテクスチャを簡単に変形させることができます。クローンについて詳しくは、製品ヘルプの「[イメージのクローン作成と採取](#)」を参照してください。

合成イメージを作成する場合のフォトペイントのワークフローとして考えられるものは数多くありますが、ここではそのうちのひとつを説明します。Karen Bonaker 氏が手がけたペイントを例にして、埋め込み画像とテクスチャをクローン ソースとして使う方法を紹介します。オリジナルのデジタル アートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してください。

さらに Corel Painter には自動ペインティング ツールが用意されており、デジタル イメージまたはスキャンしたフォトに基づくペインティングを効率よく作成できます。これらのツールを使用する上で、デジタル アートに関する経験は必要ありません。詳しくは、製品ヘルプの「[写真を自動ペインティングする](#)」を参照してください。

フォト アート作業領域レイアウトを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [フォト アート] を選択します。

クイック クローンを使用してイメージのクローンを作成するには

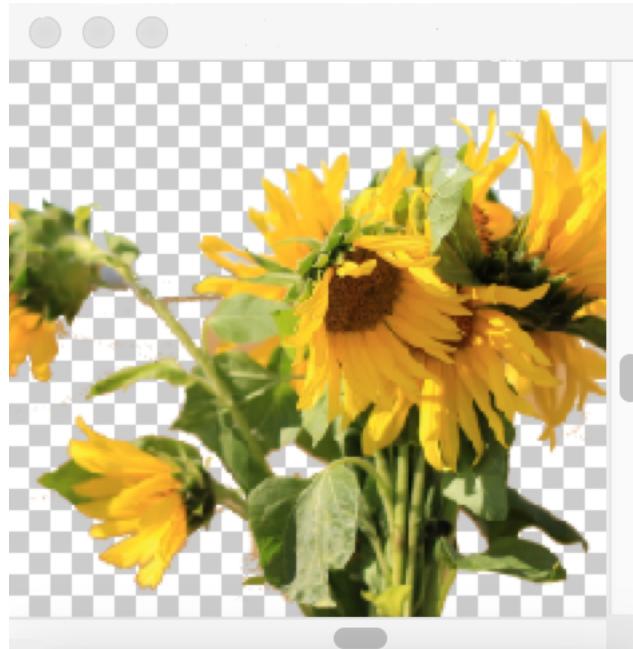
- 1 クローンの作成元になるイメージを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 クローン ブラシを使用し、キャンバスにブラシストロークを適用します。



他のブラシ カテゴリからブラシを選択して、これを設定して色のクローンを作成することもできます。この場合は、[カラー] パネルの [クローンカラー] ボタン  をクリックします。

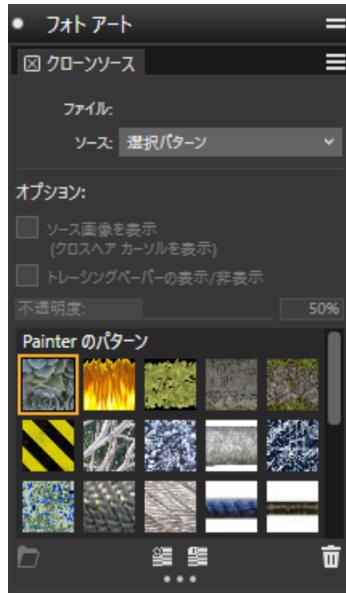
書類にクローン ソースを追加するには

- 1 書類を開くか作成します。



Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。この例では、Karen 氏が透明な PNG を使用しています。

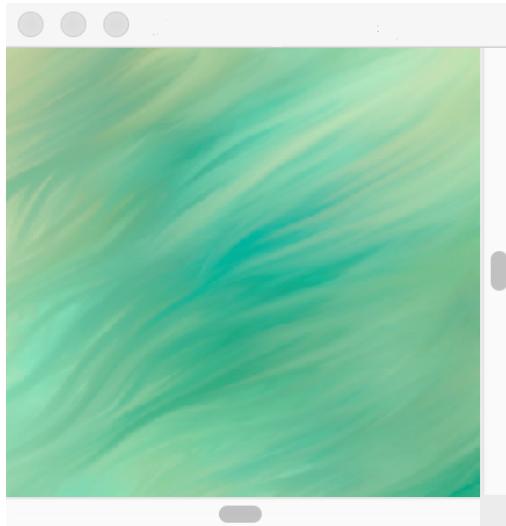
- 2 [クローン ソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローン ソース]) で、[ソース] リスト ボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。[埋め込みソースイメージ] ダイアログ ボックスで、[現行のドキュメント] オプションを有効にし、開いた書類のリストからクローンを作成したい書類を選択します。
- ヒント: 画像を追加で埋め込むには、[埋め込みソースイメージ] ボタン  をクリックし、[ブラウズ] をクリックします。使用する画像が含まれているフォルダを特定し、[開く] をクリックします。
- 3 テクスチャをクローン ソースとして追加するには、[クローン ソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [テクスチャ] を選択します。リストのテクスチャのサムネイルをクリックします。テクスチャを書類ウィンドウに表示する場合は、[テクスチャを表示] チェック ボックスをオンにします。



コンテンツ アセットを作成し、[テクスチャ] ライブラリにインポートし、ペイントまたは写真のコラージュでクローン ソースとして使います。

ヒント: テクスチャのクローンを作成する前に、構図やコンセプトに合うように見た目を修正することができます。ヘルプで[テクスチャの修正](#)の詳細を確認してください。

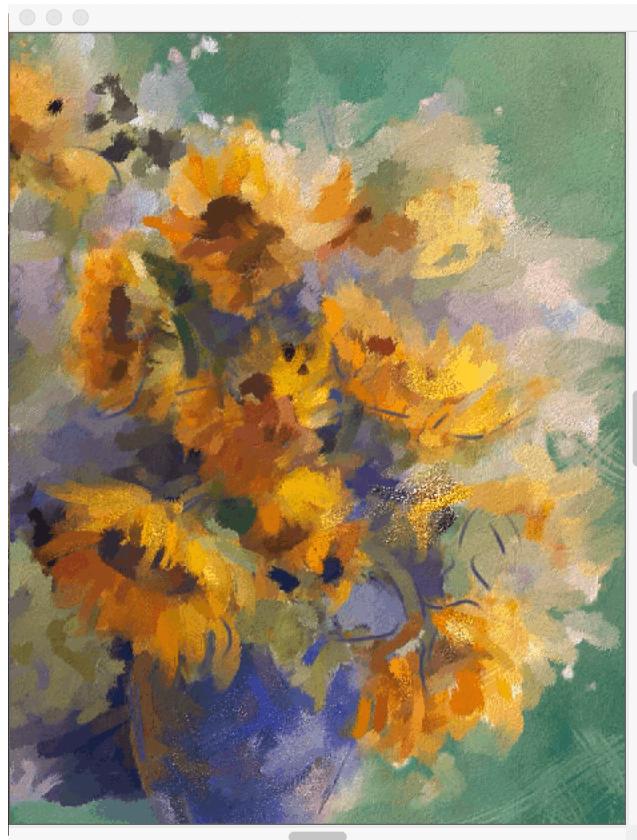
- 4 [ブラシセレクタ] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシセレクタ] ▶ [パネル(フルビュー)]) で、[クローン] カテゴリからブラシを選択します。
- 5 クローン書類でペイントしてテクスチャのクローンを作成します。



この例では、Karen 氏がカスタム テクスチャを使用しています。

ヒント: テクスチャをクローン書類に埋め込んで今後使うことができるよう書類とともに保存するには、[クローンソース] パネルで、テクスチャのサムネイルを右クリックするか (Windows)、Control キーを押しながらテクスチャのサムネイルをクリックし (macOS)、[クローンソースイメージとしてのテクスチャの埋め込み] をクリックします。

- 6 埋め込みソースの画像に切り替えるには、[クローンソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。
- 7 クローン書類でペイントして画像のクローンを作成します。描画時には、[クローンソース] パネルの [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオン/オフにすることで、トレーシング ペーパーのオン/オフを切り替えられます。



Karen Bonaker 氏が手がけたこのペイントでは埋め込み画像とテクスチャがクローン ソースとして使われています。



クローン ブラシ カテゴリ内のその他のバリアントも試してみてください。

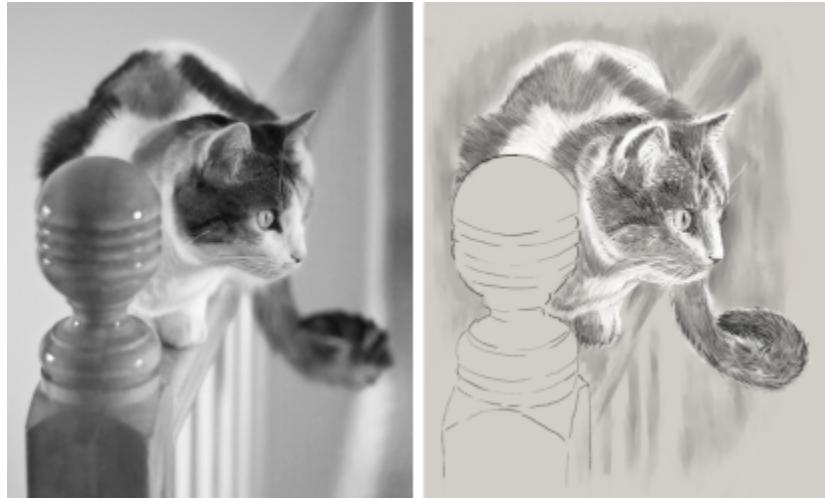


[クローン] カテゴリのブラシ バリアントの例。ヘルプにブラシストロークの例がさらにあります。

他のブラシからクローン ブラシに切り替えるには、[カラー] パネルの[クローンカラー] ボタン をクリックします。

フォト アート: トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 トレースしたい写真またはその他のアートワークを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 [クローン ソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローン ソース]) で [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスがオンになっていることを確認し、[クローン] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローン ソース]) で [クローン カラー] オプションをオフにします。
- 4 下にあるイメージを参照しながら、キャンバス上にイメージのアウトラインを描きます。

スタイルスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシングペーパーの不透明度を変えるには、[クローンソース] パネルの [不透明度] スライダを動かします。トレーシングペーパーをオフにするには、[トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオフにします。

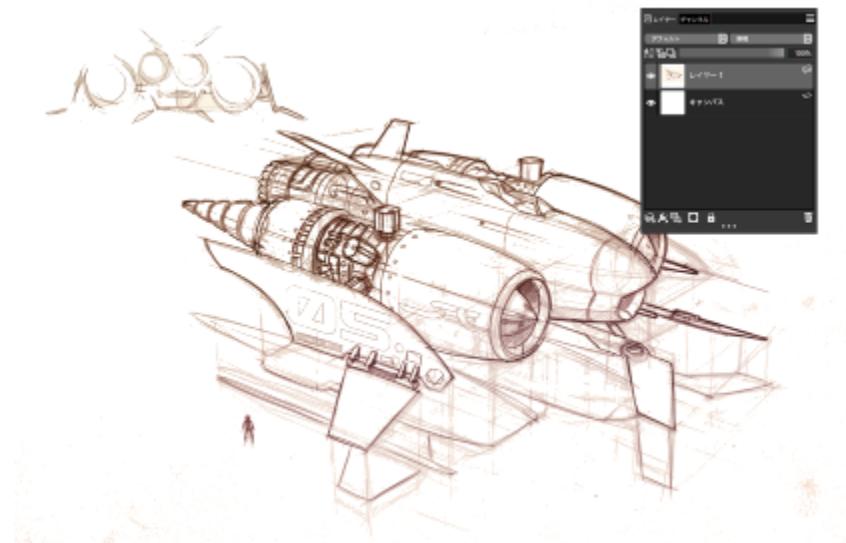
スキャンしたイラストを出発点とする

Corel Painter では、紙と鉛筆で描いた作品を簡単にデジタル化できます。今でも多くのグラフィック プロが、まずはイラストを手描きした上でスキャンし、そのイメージを Corel Painter にインポートする手法を好んでいます。

最初に、何らかの画材と紙を使用して描いたスケッチをスキャンし、JPEG 形式または TIFF 形式のファイルに保存する必要があります。

スキャンしたイラストを配置するには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] を選択して、スキャンしたイメージの配置先となる書類を作成します。
 - 2 [新しいイメージ] ダイアログ ボックスで、スキャンしたイメージとほぼ同じ寸法になるように、書類の幅と高さを指定します。
 - 3 [ファイル] ▶ [配置] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。
 - 4 輪郭が正しい位置にあるときに書類をクリックするか、[配置] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。
- スキャンしたスケッチが新しいレイヤーになります。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スケッチをスキャンまたは撮影すると、カラー スキヤナが拾った汚れや照明の映り込みなどの問題が生じることがあります。これらの問題は、キャンバスを非表示にして合成方法を変え、下にあるイメージとレイヤーのブレンド方法を調節することで簡単に修正できます。たとえば、レイヤーの合成方法を [フィルタ] に変えると、透明な背景上にスケッチが表示されるようになります。この方法では、白い部分がすべて透明になります。

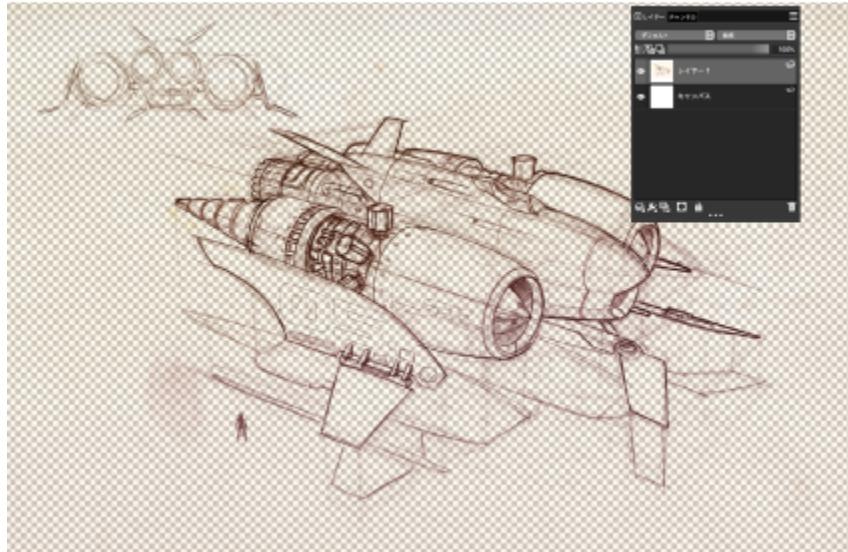
スケッチの背景を透明にするには

- 1 [レイヤー] パネルで、キャンバスの隣にある目のアイコンをクリックします。
- 2 スケッチ レイヤーを選択し、[合成方法] リスト ボックスから [フィルタ] を選択します。



最初に白以外の色でキャンバスを塗り潰すことにより、キャンバスが表示されているときにフィルタ モードで作業を行うことも可能です。この場合はキャンバス上のペイントが可能なため、スケッチの下でペイントを行うことができます。この方

法を選択すると、スケッチの大部分を素早くペイントしてから消しゴム ツール  でクリーンアップできるため、多くのグラフィック プロが利用しています。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スキャンしたスケッチを新しい書類内に配置するのではなく、スキャンしたファイルを Corel Painter 内で直接開くことも可能です。この場合は書類のサイズ指定を当て推量で行う必要がありません。なお開いたスキャン ファイルは、キャンバス上にマウントされる点に留意してください。作業をより柔軟に行うために、キャンバスから専用のレイヤーに移動することをお勧めします。

スキャンしたイラストを開くには

- ・ [ファイル] ▶ [開く] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。

キャンバスからレイヤーに変換するには

- 1 [レイヤー] パネルでキャンバスを右クリック (Windows) または Control クリック (macOS) し、[キャンバスを水彩レイヤーに変換] を選択します。
水彩レイヤーのデフォルトの合成方法は [フィルタ] です。
- 2 水彩レイヤーをダブルクリックし、テキスト ボックスに 「Sketch」 と入力します。
- 3 水彩以外のブラシ カテゴリのバリエントを使用する場合は、レイヤーを右クリック (Windows) または Control クリック (macOS) し、[レイヤーを確定] を選択します。

参考用として、シェイプおよび選択範囲を使用してスケッチ上に線画を追加することもできます。あるいは線画を専用のレイヤーにコピーした上で、ペイントイングに組み込むことも可能です。別のテクニックとして、スキャンしたスケッチを出発点とする場合にデザイン プロが多用するのが、スケッチの一部分を複製したシェイプの作成です。このシェイプにブラシストロークを加えたり、塗り潰したりすることも可能です。

シェイプを使用してスケッチを複製するには

- 1 ツールボックス内の以下のツールを使用して、スケッチの一部分を複製するシェイプを作成できます。
 - ・ ペン ツール  を使用すると、オブジェクト内に直線と曲線を作成できます。
 - ・ フリーハンド ツール  を使用すると、フリーハンド曲線を使用してシェイプ パスを作成できます。このツールはスケッチの各領域をトレースするのに最適です。
 - ・ 長方形シェイプ ツール  を使用すると、長方形と正方形を作成できます。

- ・**橢円形シェイプ** ツール  を使用すると、円形と橢円形を作成できます。
- 2 ツールボックス内の以下のツールを使用すると、スケッチの一部分をよりきめ細かく複製できます。
- ・**シェイプ選択** ツール  を使用すると、アンカー ポイントを選択して動かし、コントロール ハンドルを調節できます。
 - ・**ポイント追加** ツール  を使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。
 - ・**ポイント削除** ツール  を使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。
- シェイプ レイヤー上ではペイント操作ができないため、シェイプの外観を納得いくまで調整できたら、そのレイヤーを選択し、[レイヤー] パネルの [新規レイヤー] ボタン  をクリックしてシェイプ レイヤーの上にレイヤーを作成します。
- 3 ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックします。
- 4 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択します。
- 5 プロパティ バーで [ストロークのオプション] フライアウト ボタン  をクリックし、[パスをなぞる]  をクリックします。
- パスまたはシェイプの許容幅の範囲内にブラシがある限り、自動的に輪郭に沿って描画されます。
- 6 [レイヤー] パネル内で、シェイプ レイヤー上に追加したレイヤーを選択し、ペイントします。



閉じたシェイプを使用する場合は、それらのシェイプを **塗潰しツール**  で塗り潰せる選択範囲に変換できます。最初に目的のシェイプを選択し、[シェイプ] ▶ [選択範囲に変換] を選択します。

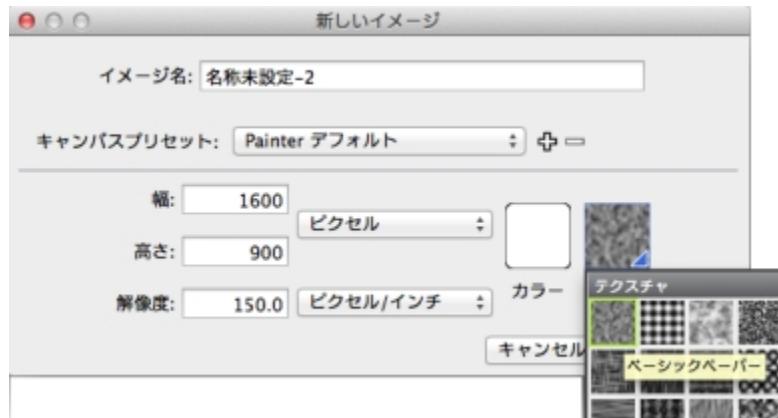
一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントする場合は、最初にキャンバス サイズ、解像度、および方向を設定します。キャンバス サイズと解像度を設定するときには、イメージ サイズが大きいほどより多くのイメージ詳細データを保持でき、イメージの縮小版を生成する必要が生じた場合にも画質を維持しやすいということを心に留めておいてください。詳しくは、「[解像度について](#)」と「[イメージとキャンバスのサイズを変更する](#)」を参照してください。

本書では、著名な Corel Painter マスターであるマイク トンプソンの作品をガイドとして使用しています。オリジナルのデジタルアートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

ペイント用の準備をするには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] をクリックし、任意のオプションを選択してキャンバスをセット アップします。
- 2 [解像度] ボックスに値を入力します。
サンプルイメージでは、解像度を 200 dpi に設定しています。
- 3 [幅] と [高さ] ボックスの隣にあるリスト ボックスで測定単位を選択した上で、イメージの幅と高さを設定します。



このサンプルイメージでは測定単位にインチを使用しており、幅が 10 インチ、高さが 12 インチに設定されています。

- 4 [カラー] セレクタをクリックし、カラー ピッカーからペーパー カラーを選択します。

サンプルイメージでは白を使用しています。

- 5 [用紙] セレクタをクリックし、[用紙] パネルから用紙テクスチャを選択します。

サンプルイメージでは、[ベーシックペーパー] を使用しています。



キャンバスの最大サイズは、16,382 × 16,382 ピクセルです。パフォーマンス問題の発生を避けるため、作業開始時のキャンバス サイズは 16,382 × 16,382 より小さく設定してください。これはエッジの近くでペイントや効果を適用した場合に、レイヤーが拡張される可能性があるためです。

フォト、デザイン、または別のデジタル アートをベースにしてペインティングを開始する場合は、[参照イメージ] パネルを使用することで、インスピレーションの元となったビジュアル ソースを見ながら作業を行えます。これはワークフローを中断することなく、アートワークの向上に役立つ微妙なニュアンスを捉える上で効果的な方法です。パネルのサイズを変更するには、右下隅からドラッグします。[参照イメージ] パネルでは、イメージから色を採取する、イメージの位置を変える、拡大/縮小表示するといった操作も可能です。



参照イメージを表示するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [参照イメージ] を選択します。

2

[参照イメージ] パネルで、[参照イメージを開く] ボタン  をクリックします。

3 [参照イメージを開く] ダイアログ ボックスで、開くファイルの名前を検索して選択します。

開くことができる参照イメージは、JPG、PNG、RIFF、および PSD ファイル形式で保存されている 1,600 × 1,600 ピクセル以下のファイルに限られます。

4 [開く] をクリックします。



[参照イメージ] パネルで複数レイヤーを含む RIFF、TIFF、または PSD 形式のファイルを開くと、すべてのレイヤーが結合されます。

参照イメージから色を採取するには、**スポットツール**  をクリックし、採取したい色の位置までカーソルを動かしてクリックします。カラー タイルが、スポットツールで選択した色に変わります。

書類のセットアップが完了したら、ブラシと色を選択してペイントングを開始できます。Corel Painter では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Corel Painter のブラシは、油彩や水彩だけでなく、鉛筆、ペン、パステルなど、多種多様な画材でペイント/描画することができます。

ブラシ バリアントとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別に [ブラシ ライブラリ] パネルに保存されています。詳細は、11 ページの「[ブラシを選択/変更する](#)」を参照してください。

ブラシ バリアントはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。多くのアーティストが、ブラシ バリアントのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークの用紙テクスチャに対する反応) などの項目を微調整して使用しています。これらの設定はプロパティ バーにあります。

ブラシを選択し、色を変更するには

1 ツールボックスで **ブラシツール**  をクリックします。

2 ブラシ セレクタ バーでブラシ カテゴリを選択し、ブラシ バリアントを選択します。

サンプル イメージでは、Mike は [ペンと鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆 (2B)] を選択しています。

3 色を変更するには、[カラー] パネルの [色相リング] をドラッグし、使用する色の範囲を表示してから、[彩度/明度トライアングル] をクリックして色を指定します。

[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値 (白) で、一番下は最小値 (黒) を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。

このサンプル イメージでは、Mike は明るい青色を選択しています。

ペイントング作業を一から開始する場合は、ペイントングの各要素をそれぞれ個別のレイヤーに配置することをお勧めします。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。また、あるレイヤーをスケッチとして使用し、そのスケッチをトレースすることで別のレイヤー上により詳細で正確なイメージを描くこともできます。

レイヤーを追加/管理するには

1 [レイヤー] パネル ([ウインドウ] ▶ [レイヤー]) で、パネル下部の [新規レイヤー] ボタン  をクリックし、スケッチ レイヤーを作成します。

2 [レイヤー] パネルの新規レイヤーをダブルクリックし、「Sketch」と名前を付けます。

3 ツールボックスで **ブラシツール**  をクリックし、ペイントングのベースになるラフ スケッチを作成します。



アートワーク作成者:マイク トンプソン

- 4 トレーシング レイヤーとして使用する新しいレイヤーを作成し、「Tracing」と名前を付けます。
- 5 Sketch レイヤーを選択して、[不透明度] スライダを 70% の位置に動かします。

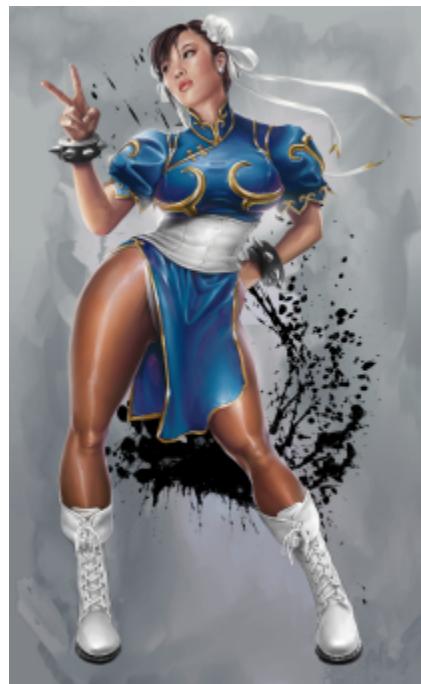


- 6 トレーシング レイヤーを選択し、別のブラシ バリエントと色を選択して、スケッチをベースにしたより明瞭なラインによる描画を開始します。



Mike は [ペンと鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆] を選択しています。アートワーク作成者:マイク トンプソン

スケッチをトレースし終わったら、Corel Painter 2020 によるさまざまな機能を活用してペインティングを仕上げることができます。



アートワーク作成者:マイク トンプソン

Mike はこのペインティングを仕上げるために、塗潰しツール、[油彩] および [ブレンド] ブラシ カテゴリ内のブラシ、ミキサーパッド上で混ぜ合わせた色、およびその他のさまざまな機能を活用しています。

このペインティングのより詳しい作成方法、またはマイク トンプソンに関する詳細情報はオンラインで入手できます。

その他のリソース

以下に示す Corel Painter のオンライン リソースで詳細な製品情報を入手していただけます。また、Corel Painter のコミュニティにもご参加ください。

リソース

リソース	アクセス先
Corel Painter Web サイト	http://www.painterartist.com
Corel Painter チュートリアル	http://www.youtube.com/user/PainterTutorials
Twitter の Corel Painter ページ	http://www.twitter.com/corelpainter
Facebook の Corel Painter ページ	http://www.facebook.com/corelpainter

Corel Painter ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。